

中央区区民会議 一学校選択制と中学校給食について一

- 平成24年4月14日(土) 15時～17時
- 中央区民センター ホール
- (中央区) 齋藤区長、有山副区長兼総務課長
(教育委員会事務局) 小川学校配置計画担当部長、望戸学校保健担当課長代理

【区長あいさつ】

皆さんこんにちは、本日は学校選択制と中学校給食区民会議にお集まりいただきましてありがとうございます。この区民会議でさまざまな意見を賜りながら、今後、公募の区長が決定させていただきます。本日は、皆さんで意見を出し合っていていただき、区民の皆さん相互の意見交換会というような形で進行できればと考えております。それではどうぞよろしくお願いいたします。

— 教育委員会事務局より学校選択制、中学校給食について説明 —

【質疑応答等】

- ・ 学校選択制について、いろいろと説明を受けましたが、まったく反対であります。何故かという、説明では学習塾の教室の配置を決めるような話であって、本来の教育面の内容がまったくない。そこがなくて、選択するとかしないとかは論外だと思います。学校選択制をどういう理念と根拠で導入するのかまったくわからない。学校選択制をして、よい学校でよい先生がいたらよい子ができる、ということはまったくありえない話です。大阪の町、中央区に役立つような「人材育成」を前提に学校選択制は議論すべきであって、塾の経営戦略のような話は論外です。選択制は時期尚早だと思います。
- ・ 今の制度では障害を持った方、いじめにあった生徒・児童が別の学校に行くことができるとお聞きしますが、それ以外にありますか。また、東京での事例を教えてください。今の制度はよくないと、どこから出てきているのか、大勢の保護者が言っているのか、というのが質問です。もう1つ、学校選択制で学校と地域の関係がより深くなった例があると言われましたが、具体的にお教え願いたいと思います。それから、例えば私立中学校の受験がうまく行かず、地元の中学校に望まない入学をして荒れる状況になると聞きます。選択制で抽選にはずれた場合の子どもたちについてのお話もお教えてください。

(教育委員会事務局)

橋下市長の選挙公約の1つに学校選択制というものがありました。市長としては学校選

選択制に対しての保護者のニーズは高いと感じておられます。それは選挙の時に市長が各区で集会を行い、この学校選択制もテーマの1つとして取り上げ、その時の参加者の大多数の方が選択制導入に賛成だったということです。当然、その場に教育委員会は参加しておりませんから、どのような説明、どのような状況だったかは、わかりませんが、市長からはそのように聞いております。そういう意味で、教育委員会も今日のようなフォーラムを開催し、皆さんに意見を聞くべきではないかと市長から話があり、この中央区だけではなく24区で皆さんの意見をお聞きさせていただいているところです。教育委員会としては、現時点では、選択制を実施するとも、しないともありません。熟議の中でも議論していきますので、そうした中で検討をさせていただこうと思っています。それから、指定外通学の話がありましたが、大阪市では、いじめとか特殊な事例などについて個別のご相談で配慮していますが、一般的に多いのは、年度途中で転居をした場合です。転居をしても友達関係があって、元の小学校、中学校で卒業をしたい、という希望があればそのまま元の学校に通うことができます。

何故、選択制が出てきたのかと言いますと、1990年台以降、国でいろいろな規制緩和が議論され、その中で、通学に関して弾力的に考える必要があるとされました。例えば指定の学校よりも隣の学校の方が近いというような場合は、就学を認めるべきであると。2000年に入ってから一段と規制緩和を求める動きがあって、その中で保護者に学校を選ぶ権利を与えるべきではないか、ということになりました。そうした中で、東京都の品川区が先行して実施してきているという状況であります。

それと、地域との関係が深くなったというのは、東京都の品川区です。区の教育委員会にお聞きしますと、学校選択制を採用することによって学校が地域の方にいろいろ働きかけを強めることとなり、結果として選択制を実施する前よりも学校と地域の繋がりが深くなったというお話をお聞きしましたので、1つの例としてお話をさせていただきます。

それから、東京都でも受け入れ人数を設定しておりますから、必ずしも希望したからといってその学校に行けるわけではありません。結果として抽選になっただけの場合、希望した学校に行けないわけですが、仮に第1希望が叶わなかった場合のために第2、第3希望を聞くなどをしている区もありますし、抽選になったときのお子さんの気持ちも考えて、選択制を利用するしないについてしっかりとご家庭でよくご相談のうえ届けを出してほしいと事前に話していく、と聞いています。

- ・ある調査によりますと親の収入と子どもの学力というのは正比例していると聞きます。自由に塾に行かせられる親の子は学力も向上するけれども、行かせるお金のない親にとっては子どもの学力はなかなか上がらないという現状があるわけです。ですから、公立の小中学校の教育レベルが上がれば塾に行かせる必要もまったくなくなって、親の収入が多かろうが少なかろうが子どもはよい学校へ進めるわけです。そういう意味で学校選

択制は有効なことだと思います。

- ・もし橋下市長がある場所、集会で民意として選択制が非常に強い意見があるとおっしゃるのでしたら、アンケートとか客観的な数値で、そういう世論が強いと市長に直接説明していただきたい。一般行政職から独立した教育委員会は、市長の考えとは異にして、教育委員会としての考えをこの場でしてほしいというのが、1つあります。それと、根拠がわからないのですが、メリットを3つほどおっしゃいました。

1つは特色ある学校づくり。2つ目に保護者が学校に深い関心を持つ。3つ目は切磋琢磨し学校の活性化に繋がっていく。その3つは今できていないのですか。できていないとしたら何故それらができていないかを述べていただかないと、いきなり学校選択ありきでは、非常に市民としては意見が言いにくいです。

(教育委員会事務局)

教育委員会としては、中央区でも皆さんの意見を聞きながら、また、熟議という検討の場を今月からスタートさせますので、その中で教育委員会という組織としても、十分議論をしながら、見解を整理していきたいと思います。特にメリットで3点言わしていただきましたが、活性化していない、特色ある教育がなされていない、今、現状でそういうことがまったくなされていないということで掲げているわけではありません。各学校で校長先生を中心にいろいろと地域の方と連携をしながら工夫のある学校教育をこれまでも現在もやっております。教育委員会としては、各学校でこのようなことが今後とも進むように全体的にサポートをしたいと思います。選択制を実施している他都市に一般的にメリットを聞いた時に、あの3つの点をあげる市町村が多いので、1つの事例として紹介をさせていただきました。当然、小中学校は義務教育ですので、特色ある教育だけを求めるものではありません。学習指導要領、大阪市教育指針に沿って、各学校において子どもたちが生きる力を養うように、十分な教育をするように、すべての小中学校でこれまでも取り組んでおりますし、この選択制があるないに関らず、これからも取り組むべき課題だと思っています。

- ・中央区で子育てのサークルをしています。選択制が、何故、出されてきているのか、まったく意味がわからない。教育、子育ては、長いスパンで見ないといけないと思います。すぐに結果が出るものではありません。
- ・学校選択制、他都市でも結構導入されているようですが、前橋市では導入していながらも取りやめています。また、東京の江東区や板橋区で変更されたと聞きますが、その要因を教えてください。

(教育委員会事務局)

前橋市は、地域との関係を懸念されて選択制を一定見直しされたと聞いています。また、江東区は自由選択制で実施し、極端に集まる学校と集まらない学校が生じてしまって、集まらない学校は、統廃合を考えないとならない状況に陥ったようです。また、遠方から通っている事例も見られたことから、子どもさんの通学範囲を一定30分とし、実質的には隣接校区選択制となりまして、それから極端に偏った例はなくなったとお聞きしています。板橋区の場合は今年度から自由選択制から隣接校区選択制に変えております。地域からは見守り活動との関係でやりにくいという意見がある一方で、8割以上の保護者がこの制度は堅持してほしい、というアンケート結果が出ており、その結果、自由選択制から隣接区選択制に変えたという説明を聞いています。学校選択制を運用している各自治体において、順調にいつている自治体もあれば、今挙げた自治体のようにいろいろ問題点に苦慮されている自治体もあり、まちまちです。

- ・私は現状のままでいいと思います。というのは、昔は越境入学の話があり、越境入学は問題になって廃止になりました。そういう事例があります。だから選択制の導入にはもっと慎重に考えなければなりません。学校給食については、学校給食のカロリー計算は朝食、夕食のことも考えて、計算をしなければなりません。小学校の給食で問題になっているのは未納の問題です。給食費をくれる親、くれない親、親が勝手に使う。中学校の場合もそういう点をお考えいただかなければなりません。

(区長)

ご意見ありがとうございます。ここで、たくさん書いていただいた意見の中で、これまで出ていない意見を紹介させていただきたいと思います。

小学校は特定地域選択制がよいという意見。長堀通りの北側、旧南区の部分で、南大江小学校に道路を渡らなくて通える、という話。昨年度の区政会議でも正式なご意見としてお聞きしていますので、ご紹介しておきます。それともう1つ。学校選択制を導入すると仕事が増えるだけ。我々教員の負担が増えるだけ。労働条件が悪くなるので絶対反対。という意見もありました。ご紹介申し上げます。

残すところ10分ぐらいとなりましたが、あと何人かのご意見を賜りたいと思います。

- ・中央区では既に学校の統廃合が進んでいる。南小学校では1クラスしかないという状況です。遠いという問題も出てきています。さらに遠くなるのではないのでしょうか。
- ・選択制の問題は公立の学校はどうあるべきかということです。その昔、私の娘が中学生

の時に、当時、学校に行くと 6 割の子がうるさくて、勉強できないと言っていました。最近の学校はどうなっているのだらうと思いました。申し上げたいのは、勉強したい子どもが勉強できる環境を自分で選べるかどうかということです。今、選択がない状況で、中央区の学校に行けば 6 割どころか、8 割の子が遊んでいる。このような環境、選択肢もない状況でいいのかと思います。

- ・先ほど話の中で、橋下市長が学校選択制を提案し、その提案した根拠が選挙のときに皆さんから選択制について支持を得たからだ、ということをおっしゃっていました。私は選挙活動中のその集会に出たことがあります、選挙戦の最中、維新の会を支持する人が多い中で行われました。それを根拠に教育委員会が右往左往するのはよくないと思っています。大阪市教育委員会は伝統ある大阪の教育を今日まで担ってこられたわけですので、大阪市教育委員会として大阪市の小中学校の義務教育を守り貫いていくと、自信を持っていただきたい。地域に密着した義務教育というのは本当に大事です。大阪にはいろいろな人が暮らし、いろいろな世帯があります。さまざまな暮らしを背負った子どもたちがいます。地域で暮らしているというのが基本です。夕御飯を食べていないようなお家もあります。虐待まがいのことがないだらうかという家族があります。そういう家庭を近隣で助けあって、声掛け合って大阪根性で盛り上げていく。地域を大事にした義務教育が基本だと思います。熟議というのは、学校選択制をするかしないかを論議するところではありません。学校選択制のメリットとか課題とかを勉強していくような、選択制ありきで設定されているような気がしてなりません。イギリス、アメリカといういろいろな教育改革をしていますが、アメリカでは地域が荒廃してしまって大きなダメージとなっています。低所得層の子どもたちは行くところなくなってしまう現実も出ています。やはり教育委員会としての誇り、大阪の教育に自信を持って前向きに、もっと子どもたちに寄り添って考えていただきたいと思います。
- ・震災を経験して、地元根付いている小学校単位での教育が大事な時だと思います。選択制について、まだわかっていないのですが、選択制が良いか悪いか言う以前に、学校が避難所になっていることなど、地域全体を考えると、やはり地域単位で暮らしている子どもたちや親が丸となってこの日本を支えていかなければならないと思います。一人の意見で持ち上がった選択制は、今の状況を分析してそれからの話だと思います。今日は早めに会場に来ましたが人数も少ないですし、今度、中央会館でも開催されるようですが、もっと周知されるようにして、こうした会議をもたれたほうがいいのではないのでしょうか。若い方の意見も集約しないと本当に意味を成さないと思います。教育のことを語れる場を作っていただいて、中央区、大阪、日本、世界が戦争のない良い世界になってほしい。
- ・私は賛成か反対かというよりも何故大阪の学力がこんなに低いのか、非常に危惧しております。高ければいいのかという問題ではありませんが、何故これほどまでに低いのか。

多数の公立が授業にならないと聞いております。地域全員でこの問題を考え、どうすれば大阪の子どもたちの学力が上がるのかをこの機に考えていただきたいと思います。それと 1 つ質問ですが、中学校給食なのですが、弁当を持って行くのは不可になるのですか。

(教育委員会事務局)

学校給食は全員喫食と弁当との選択制と 2 種類の案がございまして、それを議論いただいてどちらかを選んでいただくわけですが、全員喫食となりますと弁当はご利用いただけません。

【区長あいさつ】

ありがとうございます。さまざまな意見をいただき、今後の熟議に反映したいと思います。どうも本日はありがとうございました。

—以上—

中央区区民会議 ―学校選択制と中学校給食について―

- 平成 24 年 4 月 19 日（木）19 時～20 時 30 分
- 中央会館 ホール
- （中央区）齋藤区長、有山副区長兼総務課長
（教育委員会事務局）徳岡学事課長、深見学校保健担当課長

【区長あいさつ】

皆さんこんばんは、本日は夜分にも関わりませず、学校選択制と中学校給食の区民会議にお集まりいただきありがとうございます。現在、学校選択制については、導入するかどうかも含めて決定しているわけではなく、本日の区民会議をはじめ多くの区民から意見を賜り、後日、どのようにしていくかを公募の区長が決めさせていただきます。また、中学校給食については、先般の市会の決議で中学校給食を実施することは決まっておりますが、全員給食なのか、それとも家庭弁当との選択制なのかについて、皆さんの意見を賜りたいと思います。本日は、区民相互の意見交換会というような形で進行できればと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

― 教育委員会事務局より学校選択制、中学校給食について説明 ―

【質疑応答等】

- ・ 来年、小学校に入学の子どもがいて、私は近所の学校に入れたいと思っています。学校選択制が導入され子どもの数が減り、入学の翌年にその学校がなくなる可能性はあるのでしょうか。また、その時に転校を余儀なくされ、電車通学をしなければならなくなった子どもには、定期の補助のようなものがあるのでしょうか。開平小学校では補助があるようなことを聞いたのですが。

（区長）

- ・ 学校の統廃合は何年もかかりますので、来年入学した学校が翌年になくなることは簡単にはありません。また、中央区では小学校数が少なくなり、開平小学校において若干の通学費の補助が出る場合があります。今後、仮に学校選択制となり遠くの学校を選択した場合に、通学費の補助が出るのかということについては、基本的には熟議の中で議論されることと思いますが、自ら選択していることから考えますと制度設計上、難しいのではないかと思います。

- ・中央区の身体障害者の相談員をしているものです。障害者がおられる保護者は今回の教育改革について非常に危惧しています。教育委員会もよくご存知だと思いますが、障害を持っている子どもたちは、18歳を過ぎましたら学校というものから縁が切れ、地域で暮らさざるを得ません。その時に小学校からの地域の友達、地域でずっと親しくしている人たちの支援が必要になります。そういう子どもたちが、学校選択制になると制度の谷間に取り残されてしまうのではないかと心配があります。もう1つは中央区では既に学校の統廃合が究極のところまで進んでいて、統廃合ではなく学校を増やさないとならないのが現実です。この中央区で学校統廃合に繋がるような制度について議論をしなければならないのは、おかしいと思います。

中央区の場合、現状でも人数の少ない学校があり、学校選択制になった場合、各自が選んで行きたいところの行くのではなく、こちらの学校はまだ人数の受け入れに余裕があるからこちらへ、というような調整を区役所がするのでしょうか。

(教育委員会事務局)

- ・障害のあるお子さんの学校選択については、私どもも大きな課題と考えております。現在、就学相談の中で丁寧に障害者の保護者の意向を聞いて教育委員会としても対応しています。学校選択制が実施されたとしても同様に、就学相談の中で保護者の意向を踏まえて、丁寧に就学先を決めて行くという基本部分は変わらないようにと考えています。ただ、具体的にどういう課題があるのかということは、保護者、地域、学校長、公募委員、学識経験者等の入った熟議の中で方向性をしっかりと議論していきます。

中央区の場合、マンションの建設予定がいくつかあって、今現在、学校の教室数が不足するのではないかと学校もいくつかあります。これも1つの課題であります。そういった場合、他都市で学校選択制を実施している事例をいいますと、学校選択のために、別の目的の教室を改造して普通教室にして校区外から子どもを受け入れるとか、増築や新たに校舎を建てて校区外の子を受け入れる、といったことはされていません。あくまで、学校施設の収容の範囲内で校区外のお子さんを受け入れるスタンスで学校選択制を実施されています。仮に校区内にマンションが多く建って、校区内の子どもたちだけで教室が足りない場合は、増築などの対応をされています。校区内のおひさんは校区内で受け入れることを前提に選択制を実施されています。

- ・先ほどの熟議の話で、委員は20名で、内訳が保護者、地域、校長、公募委員、学識経験者等と説明がありましたが、公募委員とはどういう方なのでしょう。20名中保護者の割合はどれくらいですか。

また、障害者の代表は熟議のメンバーに入っていますか。当事者の意見をぜひ聞いていただきたいと思います。

(教育委員会事務局)

- ・公募委員はこの 2 月にホームページで公募させていただきました。市内在住の方から募りまして、6 名の方が決まっています。6 人のうち 5 名がお子さんをお持ちの男性、女性の保護者の方々です。

また、保護者の代表として、PTA 代表の 3 名の方に入っていますし、委員のうち半数以上は、実際にお子さんをお持ちの保護者の方々です。

障害者の代表は入っていませんが、今日のような区民会議や各区でのフォーラム、アンケートを通じて皆さんの意見をお聞きし、それらの意見を熟議の中に吸い上げしっかりと議論していきます。

- ・学校選択制は、保護者が主体的に議論を進める話と思います。もっと広報して、学校単位とか、お子さんをお持ちのたくさんの方から意見を聞いた方がよいのではないかと思います。また、学校選択制の問題は当事者の保護者の意見が大事になりますが、保護者だけの意見で決まってしまうのですか。

(区長、教育委員会事務局)

- ・今後、さらに多くの皆さんから意見をいただくためには、どのようにすればいいのか方法も含めて考えているところです。直接、区役所に「市民の声」としてご意見をいただいても結構ですので、よろしくお願いします。

もちろん当時者の保護者の意見は大切ですが、今後開催する熟議の場において、地域の代表、学校長の代表の方など、それぞれの立場から意見を出していただいて、議論していこうと思っています。

- ・根本的なことですが、何故、学校選択制を導入しようとなったのか、その目的を新聞報道では学力アップと言われているように思いますが、学力アップと学校選択制がどう相關するのか、今ひとつわかりません。子どもたちの学力アップに一番効果があるのは、一クラスの人数を減らすことだと思います。これが議論に上がってこなくて、学校選択制の議論にいきなりなるのはおかしいと思います。この辺りはどのようにお考えでしょうか。

(教育委員会事務局)

- ・市長からは、学校選択制を公約に掲げ、選挙の時に各区を回わり、実際に子どもをお持ちの保護者の方々に聞いたところ、学校選択制を希望する声が多かったという話を聞いてい

ます。教育委員会としては、あらためて学校選択制について、区ごとに、実施するのかどうか、当事者の保護者をはじめ多くの区民の意見を、フォーラムやアンケートを通じて伺いしているところであります。

また、市長は市会の議論の中でも、選択制は学力だけで学校を選ぶものではなく、学力とかクラブ活動であるとか、個々にあった事情で学校を選べるようにするといっています。必ずしも学力だけを重視しているわけではありません。

(区長)

・ここで、アンケート用紙でいただいている会場からのご意見を紹介させていただきます。

まず、学校選択制に賛成の意見は、校区外の学校の方が近くて安全なので地理的、物理的に近い学校に行きたい、横並びではなくて学校自身が変わろうと努力することは良いことだと思う、という意見が述べられています。また、反対意見では、選択制にすると学校がなくなり困る等々で、会場の意見も含めると、今日の会議では、賛成・反対半々ぐらいに意見はわかれています。

意見交換で出された意見の概要

- ・ なぜ今学校選択制なのか
- ・ いろいろな選択制で困難な状況が解決できるのか
- ・ いろいろなメリットの説明があったが逆ではないか
- ・ 進学率や学力についての評価になるのではないか
- ・ 地元に通学するのが普通である
- ・ 天王寺区では事実上すでに学校選択制となっているのではないか
- ・ 小学校を面に出すマンションが販売されている
- ・ 誰が責任をとるか・学力テストについて・競争格差について
- ・ 人間と人間の関係を作るのが教育である
- ・ 給食はやむを得ないので全員喫食を希望する
- ・ 選択制が公教育とあっているのかメリットとデメリットが理解できない
- ・ 必要性が理解できない
- ・ コミュニティーは小学校校区である・適正事項について・拠点作りはどうか
- ・ 都構想と選択制の関係について
- ・ 給食について選択が3分の1といわれたが、区で決めるということで考えてほしい
- ・ 学力テスト：学力テストをみんなが受けるのか 誰が決めるのか 責任者は区長？

天王寺区意見交換会（学校選択制・中学校給食）での
「ご意見シート」に書かれた、参加者の主な意見

天王寺区役所

1 学校選択制について

1-1 賛成

- スポーツや受験指導などで、特色を前面に出すなど、個性を有する指導方針を掲げる学校があるとよい。
- 特色ある学校づくりを進めるという理念はよい。
- 校区の境界近くに住んでいるなどの事情により、隣接区の学校のほうが近いのであれば、選択できるほうが望ましい。

1-2 反対

- メリットよりも、地域と学校の関係の希薄化などの課題の方が問題である。
- 選択制により遠距離通学となるのは、特に小学生低学年では、防犯や交通安全の面で問題である。
- 学校を選択するのに必要な判断材料が提供されるか、また保護者や児童生徒が判断可能か、が疑問である。
- 学校間のレベル格差がないようにするほうが大事である。

1-3 質問

- 選択制を導入した場合、そのエリアが将来的に、隣接区に広がることはあるのか。
- 在学中に、学校の指導方針や特色が教職員の判断などで変更された場合、転校はできるのか。

アンケート結果（回答者66人）

質問1 あなたの年齢、性別についておたずねします。

- 【満年齢】
- ① 18歳未満 2人（3%）
 - ② 18歳～29歳 1人（2%）
 - ③ 30歳～39歳 11人（17%）
 - ④ 40歳～49歳 29人（44%）
 - ⑤ 50歳～59歳 15人（23%）
 - ⑥ 60歳以上 8人（12%）
- 【性別】
- ① 男 24人（36%）
 - ② 女 29人（44%）
 - * 無回答 13人（20%）

質問2 あなたの属性についておたずねします。（複数回答可）

- ① 就学前の子ども（幼稚園、保育所等）の保護者 17人（26%）
- ② 小学生の保護者 32人（48%）
- ③ 中学生の保護者 20人（30%）
- ④ その他 22人（33%）
- ⑤ お住まいの小学校区
 - 天王寺 9人 大江 11人 聖和 12人 五条 12人
 - 桃陽 8人 生魂 1人 味原 3人 真田山 8人
 - * 無回答 2件

<質問3～質問6は、それぞれ小中学校ごとに回答してください。>

質問3 学校選択制の実施について、ご意見をお伺いします。

- | | 【小学校】 | 【中学校】 |
|---------------------------|-------|-------|
| ① 学校選択制の実施に賛成である。 | 6人 | 8人 |
| ② 学校選択制の実施に、どちらかという賛成である。 | 8人 | 10人 |
| ③ 学校選択制の実施に、どちらかという反対である。 | 18人 | 14人 |
| ④ 学校選択制の実施に、反対である。 | 31人 | 27人 |
| ⑤ どちらでもよい。 | 1人 | 2人 |
| ⑥ その他 | 0人 | 0人 |
| * 無回答 | 2人 | 5人 |

質問4 質問3で、『学校選択制の実施に賛成』、『どちらかと言えば、賛成』とお答えされた方にお伺いします。賛成する理由は次のうちどれでしょうか。(複数回答可)

	【小学校】	【中学校】
① 子どもの個性や希望に応じた学校選択の権利は、保障されるべきだから	4人	3人
② 学校に積極的に関わる意識や責任が高まると思うから	4人	5人
③ 学校や子どもの将来について、家庭で話す機会が増えると思うから	3人	3人
④ 学校の活性化に取り組む意識が高まると思うから	5人	3人
⑤ 特色のある、開かれた学校づくりが進むと思うから	5人	6人
⑥ 学校教育の情報発信が進むと思うから	6人	4人
⑦ 本来の通学区域の学校より近くの学校に行ける場合があるから	9人	9人
⑧ その他〔 〕	0人	0人

質問5 質問3で、『学校選択制の実施に反対』、『どちらかと言えば、反対』とお答えされた方にお伺いします。反対される理由は次のうちどれでしょうか。(複数回答可)

	【小学校】	【中学校】
① 学校と地域の関係が薄くなると思うから	34人	23人
② 学校間で格差が生じ、序列化が進むと思うから	24人	25人
③ 学校間で児童生徒数がかたよる恐れがあるから	30人	27人
④ 通学区域外からの児童の通学者が増え、通学の安全性に不安が生じるから	27人	21人
⑤ 学校の施設や保護者間の評判等で学校が選ばれることが考えられ、 学校教育の特色等で選ぶ方は少ないと考えるから	30人	29人
⑥ その他	5人	4人
・居住地を引っ越したら解決する問題		
・各校のレベルUPが第一、でないと、どの方式にしても良い方向にはいかない		
・学校への期待が高まりすぎてクレームが増える・学校選択制を実施すればどう良くなるかわからない		
・なるべく家が近い友達ができてほしいから「安全面」		
・学校受け入れ人数に差がありすぎる		

質問6 質問3で、『学校選択制の実施に賛成』、『どちらかと言えば、賛成』とお答えされた方にお伺いします。どのような学校選択制の形態を導入するのが良いと思いましたか。

	【小学校】	【中学校】
① 自由選択制	6人	12人
② ブロック選択制	0人	0人

5人

1人

【小学校】 ・自宅からの距離近い場合あり

- ・ブロック選択制なら結局近くの学校には行けない
- ・通学時間が長いのは子供の負担が大きい
- ・通学の負担を考えると遠い学校はしんどい
- ・通学の安全性・交通事故が心配)

- ・遠い学校へ行くと居住地域とのつながりが希薄になる

・高校受験に向けて自分にあった学校を選ぶ

・天王寺区は複雑な校区の形をしているから

【自由意見欄】

- ・ 選択の目安として「学力」評価結果を公表すると必ず「トップ校」「底辺校」などの呼称ひろがる、天王寺区で足を引張ってるのはどこの学校だという風になると足立区のように成績改ざんが出現する。
- ・ 区長の判断基準があいまいです。8月の公募区長が最終判断するということですが、今回の意見交換会の効力がどれだけあるのか、また、別に新区長と意見交換ができるのか。
- ・ 越境入学を制度として認めるように感じる。
- ・ 各校の勉強と学校生活に関して親が安心して通わすことが出来るようにしてほしい、ある水準レベルに各校が達してさえいれば選択制は必要ない。
- ・ 現在の住まいから校区の学校へ通うのは少し遠いので、選択肢が増えるのはよいこと。
- ・ 中学校なら選択にしてもよいかも。
- ・ 地元の学校に絶対行けるようにしてください。
- ・ 学校行事への参加者が少なくなるおそれがある。
- ・ 今後も意見交換会を開催してください。
- ・ 地域の活動やPTA活動について無関心な人が多いのに選択制を導入したらさらに増える。